

歴史と出会えるまちづくり船場城西の会 第 189 回会議

■代表挨拶

■活動のふりかえり等

- ・ 2019-02-10 県政 150 周年勉強会 講師:藤原龍雄氏
聴講人数:一般参加 44 名、スタッフ 12 名 計 56 名
- ・ 2018-02-13 依頼まちあるき (沖縄県うるま市教育委員会文化財課 8 名様)

■第 70 回船場御坊楽市について 2019-03-03

- ・ 準備は前日 16 時より。告知フライヤー配布を各自行なう。

■県政 150 周年ウォークについて 2019-03-10 9:15 集合～13:00・別紙チラシ参照)

- ・ フライヤーは各種団体、各イベント等で配布。
- ・ ノベルティ (ファイル) の制作進捗についての報告。
- ・ 講師料 (2 万円)、会場費 (5 千円) の準備。
- ・ 役割分担 :

■県民局補助金について (詳細別紙)

■今後の予定、その他

- ・ 研修旅行については 6 月 2 日 (日) に総会を兼ねて実施予定

■次回定例会については 3/22 (金) 予定です。■

歴史と出会うまちづくり船場城西の会 2019.1.25 第188回定例会議事録

於 西新町長屋工房 19:30~21:00

出席者 柴田武志 福田まり子 中山栄一郎 下山裕史 橋本博和 久保剛 山崎みどり

挨拶 柴田代表 インフルエンザにくれぐれも注意

進行 下山事務局が行なう。

除夜の鐘イベント (12/31・月) を振り返り

整理券が不評、以前の方法(先着40名程度)に戻し、撞いた人が何番目を撞いたかがわかる紙を配布する。本堂での修正会の参加者が少ないため、撞き初めを今年の暮れから23:30に変更する。修正会の案内を御坊列座に作成依頼をする。

県政150周年事業「飾磨県の成立から第三次兵庫県へ」について

勉強会(2/10・日)は姫路市文化財活用事業として行う。講師は藤原龍雄先生、会場は船場御坊白書院(13:00~15:00)、定員は50名。会場費¥5,000、講師料¥20,000は3月10日に支払う。事業案内が朝日新聞に掲載され、事務局には現在3名の申込がある。当日は藤原先生から届いた資料を柴田代表がコピーをして用意する。神戸新聞に事業案内記事掲載を依頼する。

ウォーク(3/10・日)詳細は今日の資料(フライヤー)による。本堂で藤原先生のミニ講座を行う。役割分担等の詳細は次回定例会にて行う。はりなび5月号に様子が掲載される予定、3月2日(土)に取材、当日はウォーク同行取材。

ウォーク事業ノベルティのクリアファイルについて

ファイルの表面1/4に薬師山からの風景、下部に高橋コレクション飾磨県庁写真を印刷し、キャプションを付け、右肩に県政ロゴマーク、最下段に当会ロゴ、キャラクターを入れる。カラー印刷。

間に挟む厚紙(両面単色印刷)の表面は説明文、裏面は飾磨県庁跡などが記載された明治の地図とする。説明文は勉強会にて藤原先生に原稿作成を依頼する。

1/27(日)10:00~柴田代表、中山副代表、原理事が御坊敬愛館の糸田先生の資料(飾磨県庁についての資料の有無)を確認する。

今後の予定

- ・観光ボランティア研修会(姫路市主催)2/20(水)午後、2/21(木)午前に市民会館にて開催される。
- ・船場御坊楽市 3/3(日)